

令和5年度第1回福岡県後期高齢者医療検討委員会 議事録

1 日 時 令和5年11月27日（月） 14:28～15:17

2 場 所 福岡県自治会館 2階201・202会議室

3 出席者

- (1) 委 員 中村委員、藤本委員、田中委員、川端委員、濱委員、片平委員、
小山委員、馬場園委員、谷原委員
(欠席：石橋（壯）委員、大塚委員、石橋（薫）委員、牛房委員、
和智委員、勝野委員)
- (2) 事務局 米田事務局長、長木事務局次長、釘崎総務課長、福井保険課長、
管健康企画課長ほか

4 議事の要旨

(1) 委員紹介・職員紹介

(2) 事務局長挨拶

委員の皆様には、ご多忙にもかかわらず、本日の検討委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本広域連合が担っている後期高齢者医療制度は、平成20年の施行の時から16年目を迎えております。

途中、新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態対応を余儀なくされるなど、運営面での困難事象が生じましたが、被保険者の方々をはじめ、関係各位のご理解・ご協力によりまして、現状、安定的な運営ができていると認識しております。

ただ、令和7年には団塊の世代全員が75歳を迎え、急速な少子高齢化の進行、超高齢化時代への突入など、深刻な影響が懸念されていることに加え、本県は、後期高齢者一人当たり医療費が全国で最も高い水準であるなど、これからは難しい舵取りに迫られるのではないかと考えております。

今後は、これら多くの課題のためにも「健康寿命の延伸」や「医療費適正化」などに取り組むことが必要であり、各市町村と連携しながら対応していく所存であります。

本日は、本広域連合として令和6年度から6年間の基本指針を示した「第4次

広域計画」や、同一の期間の保健事業全体の取組を示した「第3期データヘルス計画」の、2件の協議事項、その他報告事項を予定しております。

忌憚のないご意見やご助言を賜りますようお願いいたします。

委員の皆様には、これからも後期高齢者医療制度の運営に対し、ご支援、ご協力をお願いいたしまして、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

限られた時間ではありますが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(3) 会長選出・副会長指名

指名推選により、馬場園委員を会長として選出した。

馬場園会長が、谷原委員を副会長として指名した。

(4) 協議事項

① 第4次広域計画（案）の作成について

○事務局 （資料1に基づき説明）

○会長 団塊の世代が後期高齢者に入り、現役世代の人数が減って、それに伴って増加した保険料が現役世代の方が高かったのも、今後は現役世代と後期高齢者で保険料の増加が同等となるように見直すというのが一番重要なところだと思う。低所得者に関しては7割から2割減免があるということで、弱者の負担が大きくなるように配慮している。

② 第3期データヘルス計画（案）の策定について

○事務局 （資料2に基づき説明）

○会長 第3期データヘルス計画では、予防活動や医療費適正化についてPDCAサイクルを回すということで、目標に関しては令和6年度をベースラインにする、あるいは全国平均値に沿って目標値を策定するという形で動かしていくということかと思う。ひとつだけ今までと違った点として、ジェネリック医薬品の指標が今までは数量ベースの普及率だったが、削減効果額という指標が新たに入っており、これは医療費適正化という目標から見るとより適切であると思う。

(5) 報告事項

① 令和4年度医療給付費について

○事務局 （資料3に基づき説明）

○会長 高齢者の数が伸びているため医療給付費も伸びているが、一人当たり医療費は大きな変化はない。都道府県別の一人当たり医療費は、令和2年度はおそらく13年ぶりくらいに1位から2位になった。令和3年度にはま

た1位に戻っているが、あまり大きな差はない。福岡県の方が高知県よりも、新型コロナによる受診控えの影響が大きかったからだと思う。

(6) その他

○事務局 次回、第2回検討委員会の開催日程は令和6年1月24日(水)を予定。